

## 電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2012年3月10日

No 291

1部100円

発行者ELIC編集委員会谷口利男  
108-0073 東京都港区三田3-2-20  
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

# ELIC

## 12春闘を元気でたたかおう!



「すべての仲間の賃上げと雇用の安定」で、くらしと経済をたてなおそう!を掲げた金属労働者のつどいは、2月26日に東海集会、3月4日に西日本集会が開催され、3月3日(土)午後1時からは「上野公園水上音楽堂」で「12春闘を元気にたたかう金属労働者のつどい」東日本集会が1500名の参加で開催されました。この集会には電機・情報ユニオンと共に電機の職場からは、東芝・NEC・OKI・富士電機・アンリツ・ルネサスなどから約20名が参加しました。

集会後電機からの参加者は、OKIデータの直接雇用を求める横断幕と各団体のノボリを掲げ(写真)湯島天神下交差点から御徒町、秋葉原へ向かう繁華街をデモ行進、大いにアピールしました。

集会に先立ち、11時に集合して「湯島聖堂」「神田明神」「妻恋神社」「湯島天神」など、歴史や江戸文化に詳しい電機懇井坂政策委員長に案内役をして頂き、一同新たな発見ができた行動になりました。

### 今月号の紙面

- ① 12春闘「金属労働者の集い」
- ② 電機懇「統一ビラの配布」(1/2)
- ③ 電機懇「統一ビラの配布」(2/2)
- ④ 群馬労働局がOKIデータに指導  
パナ電工ビルマネで撤回させる
- ⑤ 関西電機「12春闘の集い」開催  
NECセミ・裁判闘争報告
- ⑥ 私の自慢「愛犬と一緒に」松永さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 掲示板、「原発ゼロ」学習講演会  
リストラ実態調査、集積回路

# 12春闘 電機懇統一ビラ配布

電機懇と電機・情報ユニオンは共同して12春闘「E L I C」2月号外の「統一ビラ」3万枚を全国の電機・情報関連の職場門前で配布をしています。取り組み状況を写真を含めて紹介します。

## J R鴨居駅で宣伝行動

2月3日(金)早朝、パナソニックで働く労働者も利用するJ R鴨居駅で宣伝行動を行い、E L I C 2月号外と電機ユニオンリーフレットのセット



訴える電機懇今井代表

を配布しました。この宣伝行動には6名が参加しました。

今年一番の冷え込みでしたが、参加したメンバーは元気いっぱい通勤を急ぐ人たちに298セットを手渡しました。

## シャープ亀山工場で宣伝

2月20日(月)退社時間の17時15分~18時(一斉提示退社日)に参加者9名(関西5名、富士電機三重OB)で行い、配布数は520枚でした。

退勤の人数は減っており、特に非正規労働者はほとんどいない状況です。亀山工場は大型液晶パネルの生産をやめてスマホ等の中、小型液晶パネルの生産をするため生産設備の工事中で、4月中には完成するとの事です。(ビラ配布時いつも来て状況説明をされる総務課の人)



シャープ亀山での配布風景

## 2月24日に「一日行動」



2月24日(金)三菱電機本社前での早朝宣伝

2月24日は、電機・情報ユニオンの「一日行動」が取り込まれ、電機懇も共同行動しました。

7時40分からJ R東京駅南口の三菱電機本社前からの宣伝行動から開始しました。

昼休み時間に行ったパナソニック(地下鉄「御成門」駅近の東京パナソニックビルの1、2、3号館前)での宣伝行動は、会社に大きなインパクトを与えました。1、2、3号館のすべての社前でビラ配布を行ったので、警部の人たちが大慌てで連絡を取り合いました。

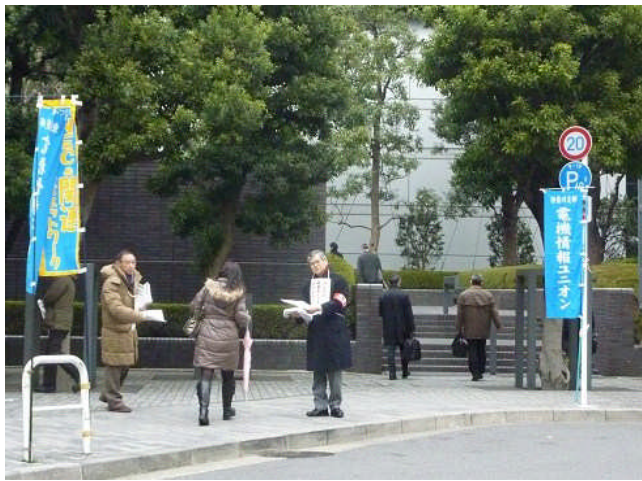
行動後の交流会では「産業別労働組合としての役割を果たした1日となった」「継続して取り組み、成果を生み出していく」「政策を研究し、提言をつくって要請していこう」「パナソニックの大慌てぶりは、悪いこと(リストラ)を行っている反映」「初め



2月24日(金)、御成門駅付近(パナソニック1号館)

てソニー（大崎）でビラを配布したが、6割くらいが受け取った」などの意見を交わしあい、有意義な「12春闘1日行動」を締めくくりました。

## NECの1万人リストラ反対



2月6日（月）NEC本社前での早朝宣伝

2月6日（月）、NEC本社ビル・三田国際ビルに19名の参加で約1400枚のビラを配布できました。今回はNECの1万人リストラ反対をアピールしようとゼッケンを作り、ビラの受け取りはこれまでになく良く、待って受け取る人もいました。やはりリストラ発表直後でしたので関心が高く、これまでの最高枚数900枚の1.5倍となりました。

2月13日（月）には、NEC府中での早朝宣伝も13名が参加する中で、1430枚と今までの1.5倍の受け取りとなりました。



2月13日（月）NEC府中前での早朝宣伝

## 日立懇茨城で4000枚配布

日立懇茨城は、ひたちなか市、日立市の日立関連職場中心に定期的に日立懇「全社ビラ」を配布しています。

職場は、重電、家電、半導体（ルネサス）、IT、一般産業など多様で、労働者の置かれている状況も異なり、ビラの受け取りも一様ではありません。白物家電製造職場は90%が派遣社員で、商品の売れ具合で労働者数が大きく変動していて、企業の生産活動の「調整弁」の実態や、女性労働者のビラを受け取る荒れた手から劣悪な労働環境が見て取れます。

「12春闘の統一ビラ配布」は、日立懇、電機・情報ユニオン、OB、支援者の40人で、8職場に4000枚配布しました。また、関連組織や個人に150枚配布しました。寒さ厳しい中でのビラ配布でしたが、若い労働者から、「いつも勉強させていただいています」と嬉しい反応もありました。職場では苦しい生活から春闘での賃上げは切実な要求ですが、労働組合の「ベア要求せず」に失望が広がっています。

## ルネサス高崎で400枚配布

3月2日（金）17時から18時、小雨模様の中、群馬県労会議、OKI電気の職場を明るくする会、電機・情報ユニオン、ルネサス懇からの8名で行い、400セットを配布できました。

ハンドでの訴えは、各団体の代表（群馬県労会議の真砂議長を写真で紹介）が行いました。

配布後「小雨の中であったがほとんどの人が受け取ってくれて良かった。雨の中ありがとうと声を掛けられた。自らが手を出して受け取ってくれていたので手ごたえを感じた」などの感想が寄せられました。



群馬県労会議真砂議長

# 労働局がOKIデータに指導

## 群馬労働局がOKIデータの 派遣法違反を認定・指導

### 一般業務を専門業務(ソフト)と偽装し長期雇用

2月17日 群馬労働局(群馬県前橋市)は、違法派遣を申告してOKIデータに直接雇用を求めている申告者(35歳・男性)に対して「派遣法違反を認定した」と伝えました。申告した派遣労働者は、雇用期間に制限がない「政令26業務」の1号業務(ソフト開発業務)として8年5ヶ月間働いていました。

しかし、実際は1号業務とは関係ない仕事＝一般業務をしていたため、雇用期間は原則1年で最長でも3年となります。この派遣法違反の認定を求めて昨年9月に申告しましたが、今回労働局は、この申告内容を認めOKIデータに対して派遣就労受入れ期間を定めた派遣法40条の2違反を中心とした是正指導を行い、派遣元に対して通知義務を定めた同35条の2違反を中心とした是正指導を行いました。

申告者は、①就業条件明示書に記載された1号業務にあたらぬ、プロジェクトマネジメント、子会社・請負会社などの教育、時には残業指示なども任されるなど、正社員と同様な一般業務をしていた。②業務内容以外にも、指揮命令者の違反などがあつた。③2年間の毎月の残業時間平均が80時間超の過重労働に耐えたのは上長から正社員化を期待させる発言があつたこと。④家族の生活を守るためにも、愛着あるOKI

データで働きたい。など、労働局に何度も足を運び粘り強く指導官に具体的な違法性を訴えて得た貴重な成果です。

### 団体交渉で雇用確保させたい

OKI正社員と比べ年間150万円も低い賃金、長時間過重労働のうえ、責任ある業務を派遣法違反状態で長期間雇用したうえで「使い捨て」にしたOKIデータ。電機・情報ユニオンは企業の社会的責任を追及し、組合員である申告者が、OKIデータで働けるように全力を尽くすと同時に、日本社会の土台を崩壊させている派遣法が労働者保護法になるように奮闘する決意です。

【OKIデータ】OKIの主力製品の1つプリンタ事業会社。本社・東京、資本金190億円(OKI100%)売上高1250億円。連結従業員 約6500人のうち海外が約8割。単独では約900人。<2011年3月期>



OKIデータ本社・下車駅JR田町駅(東京・山手線)掲示の看板「職場に 愛を」「がんばる あなたを応援したい」

### パナ電エビルマネで違法な リストラを撤回させる

会社は、弁護士と相談し「整理解雇は問題ない」と退職誘導したことに対しての事実確認は、弁護士から、「相談は一度も受けていない」と答える。相談もしないことを弁護士の名をかたり、「整理解雇」を正当化させる嘘を会社も認めました。

電機・情報ユニオンから会社に対して、外部委託の経過説明を求めると、役員から「株主からアドバイスを受け、会社の将来を考えてのことだ。経営方針を変更することは無い」と、労働者の生活をかえりみない違法リストラの実態が次々に明らかになりました。

労働組合には、団結権・団体交渉権・団体行動権など法律で守られています。会社は、一人でも組合員がいれば、団交を断ることはできません。

現行法を活用し週1回の頻度で団交を行った結果、不当労働行為への謝罪するとともに、新たに発覚した深夜勤務の未払賃金の支給は、5年間さかのぼり退職者をふくむ4名全員に一人約60万円を支払う。遠距離配転の撤回・賃金保障・仕事の確保などが解決されました。

# 関西電機懇で「12春闘の集い」

関西電機労働者懇談会は2月4日（土）13時30分～16時30分にかけて、国労大阪会館にて、電機・情報ユニオン関西地本との共催で「12春闘勝利 電機の集い」を開催しました。

この集いには、10企業のそれぞれの職場から24名が参加しました。

集いは、江口・電機懇全国世話人の司会で始まり、開会挨拶を堀川・関西電機懇事務局長そして12春闘要求アンケート集約結果と12春闘への電機懇の提言の報告を西野・電機・情報ユニオン関西地本委員長が行いました。

今年は貴重な活動が多く、例年の講演を行わないで交流中心の内容で行いました。

全国的なリストラが行われつつあるパナソニック、その影響をもろに受けている三洋など休憩をはさんで7職場から報告がありました。

特にパナソニック電工ビルマネで解雇をいわれた4人の労働者が電機・情報ユニオンに入り、団交、事務折衝を精力的に行い解雇を撤回させたたたかいは感動的でした。本人は「パナ電工の管理職のたたかいを知っ



2月4日開催された関西電機懇の会場風景

ていたから決意できた。でもユニオンがなかったら、ここまでできなかった」とのこと。このたたかいを通じて5人の組合員が加入されました。

質疑応答も活発に行われ、最後に電機・情報ユニオン結成募金の訴えを行いました。

閉会挨拶は田上・電機・情報ユニオン関西地本書記長が行いました。

集い終了後、場所を変えて飲み会を行い親睦を深めました。

## NEC重層偽装請負訴訟 セミコンの指揮命令は明らか

NEC重層偽装請負訴訟は、熊本地方裁判所第101法廷で2月10日（金）証人尋問が行われました。

明らかになったのは、NECセミコンダクターズ九州・山口（株）錦工場内で物流業務を行っていた現場は、NECロジスティクスと日通と人吉急便の労働者の混在で「班」を編成し、NECセミコンダクターズ九州・山口（株）からの指揮命令なしに業務は動かなかったということでした。

ロジスティクス所長の証言では、セミコンから請け負った業務をさらに日通に委託したその業務に「日通以外の人がいた」ことを所長に着任してしばらくたってから、「あれっ」と思った。夕礼の場は「コミュニケーション」「雑談」などと言って「指揮命令」ととられないような苦し紛れの証言で、「念押し」や「業務連絡」を「労働局から『指揮命令』ととらえられた」と弁明しました。

セミコンとの委託契約の「再委託禁止」条項の認識についての応えはあいまいで、裁判官から「NECのロゴ入りの『入門証』の変更は再委託禁止を考えた上でのことではなかったか」と問われました。

次回証人尋問は、3月16日（金）午後1時半から日通からの証言です。

Nロジから業務委託を丸投げした日通からどんな証言がでるか興味津々です。いずれにせよ、今回の証人尋問でも証人からコンプライアンス（法令順守）という言葉が発せられましたが、労働者をモノのように扱い、違法を誤魔化そうとする大企業の社会的責任が問われているのです。

（第8回口頭弁論ニュースより）

# 私の自慢「恵まれた自然と1匹の犬」

No. 61

NEC重層偽装請負訴訟原告団 松永 正憲

と闘い始めてから2年  
10か月になります。

私が住んでいる所は、熊本県の南部（球磨郡）に位置し、鹿児島、宮崎との県境にも近く普賢岳の噴火の噴煙も確認することができる近い場所です。盆地の中央には、日本三大急流の一つである球磨川が流れています。秋が旬の鮎取りで、全国から太公望があつまり、特大の尺鮎取りで有名です。

このような自然に恵まれた環境の中、今まで仕事に子育てに頑張ってきましたが、解雇日の2009年3月27日の一方的な解雇は一生忘れる事は無いと思います。

解雇通告から解雇日までの一か月間、言葉では言い表せない苦痛を体験しました。作業員からは、白い目で見られ、話し掛けてくる回数も少なくなり、私が悪い事をして退職に追い込まれたような感覚になりました。職場友人としての友情も消えさってしまいました。今の現実立ち向かい、責任感を持って遣り遂げようと言ひ聞かせ頑張った事を思いだします。

この解雇で、仕事を失い、家族の夢、目標を失い、友人を無くしました。当時、高校3年の長男の進学を考えていた矢先であり、断念するしか無く、子供にとって不平、不満も堪えていたと思います。後から聞いた事ですがお姉ちゃんは専門学校に行けたのにとこの思いがあったようです。長女は、6年前に名古屋に嫁ぎ、現在は自宅には、妻と二人暮らし、いいえ、もう一匹います。チワワ〔1歳〕雌、名前は百花〔ももか〕から安らぎを貰っています。私達3人が、旧NECセミコン

大企業と闘ってこれたのは電機懇、及び各団体の皆さんからの支援と協力だと感謝しています。一昨年の4月6日に熊本地方裁判所に提訴して1年10か月が過ぎました。ここ最近を振り返っても最悪でした。熊本地方裁判所に提訴したころは、失業保険も切れ、経済的にも困窮し、少し貯えていた貯金も底

をつく状態だったため、生命保険を解約し掛け金の小規模な保険に切り替えて乗り切ってきましたが、一昨年の10月ブロックにつまずき転倒して、犬走りの角に右肩が当たり打撲怪我し、2か月腕を固定していました。そして昨年の4月7日に39度の熱が続き、インフルエンザと思い病院に行った所、結果は胸膜肺炎と診断され、そのまま入院しました。21日間で退院し、肺に水が溜まるなど病状が悪化し長期療養となりました。息苦しいのは取れませんが、8月始め、闘いに復帰しています。自分の判断が後手に回り、生命保険の解約が惜しまれてなりませんでした。



「愛犬と一緒に」 (2011年8月20日)

旧NECセミコン錦工場には18年間勤務し、期間従業員から正規従業員で働いた経験も有り、本来なら誇りを持って自慢出来るはずですが自信も無い状況です。ただし学歴の無い私が中途採用されて努力を重ね、管理職になった事は胸を張って自慢出来ます。自慢と言うよりボヤキになって申し訳ありませんでした。

球磨郡はほんまによか所ばい！安らぎを求めて1回来て見てんない！

電機・情報  
ユニオン

## 春闘勝利をめざし「1日行動」を展開 3つの業界団体に要請!

電機・情報ユニオンは2月24日（金）、12春闘方針で宣言した業界団体への要請行動を含む「1日行動」を、米田徳治委員長を先頭にして10数名の参加で意気高く取り組みました。

行動は、早朝の三菱本社での宣伝を皮切りに、電子情報技術産業協会への要請、ビジネス機械・情報システム産業協会への要請、パナソニック東京ビルでの昼休み宣伝、日本電機工業会への要請、ソニーシティ大崎での夕方宣伝と順次に行動を展開しました。

要請を受けた各業界団体は、「我々の団体は、業界の課題を解決していくことが役割で、労務関係については扱っていない」と戸惑い感がありましたが、ユニオン側の話を30分から45分間にわたり真剣に聞くなど、真面目な態度で対応しました。

要請は、冒頭に米田委員長が要請文「2012年春闘にあたっての要請」を読み上げ、その後に具体的な事例を要請団（米田委員長、中村副委員長、森書記長）が補強説明しました。各業界団体の対応は、「CSR問題については気に留めています。CSRだけだと、HPへの掲載も可能性はありますが、他の要請項目があるので…」 「ものづくりに対する危機感を持っています」「要請については、会員会社へは踏み込まれないが、伝えられることは伝えます」「発足して間もな



いのに、随分とご活躍ですね」など、ユニオンと共有できる考えや前向きな話も出されました。

また、パナソニックの宣伝行動では、警備や勤労担当者が大慌てで警戒にあたるなど、会社に大きなインパクトを与えました。

今回の「1日行動」は、電機・情報ユニオンの産業別労働組合としての役割が実感できる取組みになりました。今後も、業界団体への要請や協議の申し入れを継続して行い、業界団体に影響を与える関係づくりをめざしていきます。

### ～ 覚悟があればいいのか ～

「企業とたたかう活動家である以上、会社から攻撃を受ける覚悟は持っているだろう」そんな言葉を、活動家を快く思わない側からも、また先鋭的な活動家からも聞くことがあります。

「虎穴に入らずんば虎児を得ず」のことわざの如く、ある行動に伴うリスクや災いを承知したうえで、敢えて行動に出るとき、そこには大なり小なり覚悟があるに違いありません。

しかし行動を起こす者は、極力リスクを回避し、災いを逃れつつ、目的を成就したいと考えているのであって、リスクが現実になることなど決して望ん

ではいけません。そのリスクや災いが人為的なものであり、かつ法や社会正義に反していたり、人の悪意や欲望から出た加害的・暴力的なものであれば、なおさらだと言えます。

だから私たちは、たとえ勇気ある人がどんなに立派な覚悟を持っていようと、その行動によって降

りかかるリスクや災厄が、誰のどのような意図によってもたらされるのかを考えるべきではないかと思います。

「覚悟をしていたはずだから、

どんな結果になっても自己責任だ」との考え方に、私は決して与しません。なぜならそれは、加害者を無条件で許し、全ての責任を被害者に押し付ける論理だからです。

### 青年部コーナー

No. 41

## 掲示板

- ◆NECセミ偽装請負裁判  
\* 3月16日(金)13時30分熊本地裁  
\* 4月20日(金)10時30分熊本地裁
- ◆三菱名古屋派遣切り裁判  
控訴審・名古屋高裁1003号法廷  
\* 3月27日(火)13時30分~
- ◆JMIU高見澤電機支部裁判  
控訴審・東京高裁 第3回口頭弁論  
\* 3月29日(木)11時00分~
- ◆パナソニック若狭・正規雇用裁判  
控訴審・名古屋高裁金沢支部  
第1回口頭弁論 4月16日(月)11時30分~

## リストラ実態調査を開始 2月末で8万人超える

電機懇は、電機・情報ユニオンと共同して「リストラ実態調査」を行っています。

2月末時点で、20都府県で会社の社員数合計78万の内8万5570人の早期退職などを実施しようとしている実態が明らかになりました。

全国調査を進めていますので、情報等「事務局」に集中して下さい。

## 電機懇「学習講演会」 「原発ゼロ 再生可能エネルギーへの転換を」

- 日時；4月21日(土) 13時30分~17時  
会場；港勤労福祉会館 第一洋室 (JR田町駅)  
内容；1, 原発ゼロへ「電機懇の提言」  
；2, 原発製造現場からの報告 (東芝、日立)  
；3, 特別報告「東京電力の原発方針と電力労働者の闘い」  
鈴木 章治氏 (東京電力OB)  
(世界と日本のエネルギー労働者と連帯する会代表)  
；講演「原発から自然エネルギーへ 世界の流れと日本」  
伊藤 千尋氏 ジャーナリスト (朝日新聞記者)  
(プロフィール)

1949年、山口県生まれ。東大卒。74年、朝日新聞社に入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、バルセロナ支局長を歴任。2001年にはロサンゼルス支局長として、9・11後のアメリカ社会を精力的に取材。これまで世界68カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。現在、朝日新聞「be」編集部所属。主な著書に、『地球を活かす 市民が創る自然エネルギー』『活憲の時代-コスタリカから9条へ』『変革の時代-理想は実現できる』『君の星は輝いているか』(いずれもシネ・フロント社)、『辺境を旅ゆけば日本が見えた』(新日本出版社)など多数。



主催；電機労働者懇談会、電機・情報ユニオン

## 集積回路

◆12年春闘の最中、電機・情報ユニオンと共同で配布している「ELIC」2月号外3万枚は、全国の職場で配布され歓迎をされています。◆内容は昨年実施した「12春闘要求アンケート」の集約結果を基に、生活実態をふまえて「月額3万円以上が76%に達してる」をメイ

ンに掲載しています。◆12春闘でベースアップすら要求できないでいる現状に職場から不満があるのは当然と言えます。会社に要求書を提出しなければ、いくら団交をしても1円も勝ち取れません。◆昨年9月に結成された「一人でも入れる産業別労働組合」は、この半年という短い期間であっても組合員の要求の実現

のために、積極的に団交や事務折衝を重ね解決を図ってきています。◆電機懇は職場の中で、働く人達の生活と権利を守って行く為に労組に職場要求を取り上げさせ、その実現に向けて取り組みを強めています。12春闘で「賃上げも・雇用確保も」の立場で連帯・共同行動など取り組んで行きましょう。(谷口利男)